

フィリピンと日本 —質の高い和解に向けた課題—

中野 聡

nakano.satoshi@r.hit-u.ac.jp

監査懇話会 12 June 2018 @ 日比谷図書文化館

1. はじめに
2. フィリピンと日本 和解のパターン
3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環
4. 日本の忘却
5. フィリピン 忘却への抗議：メモラーレ・マニラ1945
6. 天皇皇后フィリピン訪問（2016年1月26-30日）ほか最近の動き
7. おわりに

1. はじめに



マニラ戦（1945年2～3月）で廃墟と化した財務省ビル @ John Tewell

1. はじめに



マニラ戦（1945年2～3月）で廃墟を進む米兵 @ John Tewell

1. はじめに

・日中戦争・第2次世界大戦における日本の戦争責任:

・殺害・強制労働・飢饉などによる非戦闘員の大量死

✓中国2000万～;インドネシア400万;ヴェトナム200万;フィリピン110万などの主張(実数の確定は困難)

・性暴力・「従軍慰安婦」問題

・1990年代以来「歴史戦争」の源でありつづける

1. はじめに

1990年代～ 「歴史戦争」「歴史認識問題」

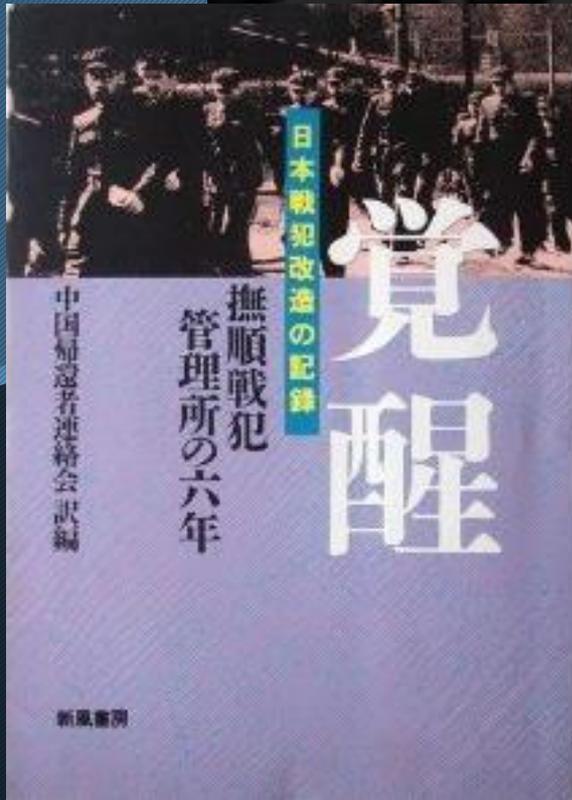
- ✓ ナショナリズムがぶつかりあう戦場(過去の事実を共有する問題意識が欠如)
- ✓ SNS/Web上の自民族中心主義・歴史修正主義がアジア諸国に台頭
- ✓ 摩擦の相手国(中国・韓国)との問題がクローズアップされる一方で、摩擦のない相手国(東南アジア、フィリピン)との過去は忘れ去れる
- ✓ 「質の高い和解」をどのように「制度化」するかが課題

1. はじめに

日独・アジアとヨーロッパの比較

- ✓ 政治的リーダーシップ
 - ✓ ブラント首相「ワルシャワ・ニーフォール(跪拝)」1970年
- ✓ 制度化不在
 - ✓ ホロコースト否定論の非合法化
 - ✓ ナチス戦争犯罪の無時効
- ✓ 和解の基礎となる事実の共有が欠如
 - ✓ ヨーロッパ全体の罪としてのホロコースト vs 日本(軍)の犯罪
- ✓ 戦争証言はドイツ／ヨーロッパを圧倒する質と量(「否定論」をのりこえる加害証言の豊富さ)
 - ✓ 「撫順の奇跡」1950-60s
 - ✓ NHK証言アーカイブズなど

1. はじめに



戦争証言アーカイブス

サイト利用ガイド | FAQ | サイトマップ

NHKアーカイブス

戦争証言アーカイブス 戦後 日本のあゆみ

戦争証言アーカイブス内から検索

お知らせ | このサイトについて

番組 | 証言 | あの人の戦争体験 | ニュース映像 | 戦時録音資料 | 所属・組織から検索 | 地図から検索 | 年表から検索 | 特集 | マンガ | 教育活用

ホーム > 証言 > 鷹田 源一郎さん

証言

※証言をご覧になる前にお読みください。 | 証言一覧に戻る

タイトル 「ゲリラの村を肅清せよ」

書籍名 【証言記録 兵士たちの戦争】
ルソン島 悲劇のゲリラ討伐作戦～秋田県・歩兵第17連隊～

氏名 鷹田 源一郎さん (秋田・歩兵第17連隊)

戦地 フィリピン(ルソン島)

収録年月日 2010年6月27日

クリックするとNHKサイトを離れます | ツイート | シェアする | チェック?

再生テキスト

「あの部落は、もうゲリラの部落だから、男でも女子でも子どもでも皆殺してしまえ」というわけよ、そういう指示を受けた事があって、いまは公言されね事だもよも、居た人全部、わらし(子ども)の果てまで一人残ったって困るべ?皆殺し。そういう、そういうのは、憲兵隊な、いやあれだっけ、ヤシ林の中でよ、一人居た、隠れていいたの(人)連れて来たって俺のどこさ、あの連れて来た女の人どこよ、連れて来たっけものな、その女のよ、やっぱりただの女子でねえ、やっぱり…かなりの知識のある人だと思っただ。俺の手を締めてよ、グジャッと締めて「ニッポン、テンノウヘイカ、アリマス、タスケテグサイ」って、天皇陛下って泣く子も照る神様だべった?日本では。天皇陛下があるって事を、皇室があるって事を俺(女)も認めるから日本を分かっているから、理解しているから、

再生中 12:25

3] タスケテグサイ 12:25

4] 陣地構築と逃げる日々 04:27

5] 圧倒する米軍の火力 07:04

6] パナハオ山での孤立 04:33

7] 武装解除 02:33

提供写真

この証言に関連したキーワード

キーワードから検索

食糧 / 補給 / 三八式歩兵銃 / 白兵突撃 / たこつぼ / 捕虜 / 軍紀 / 復員

出来事の詳細 | 証言者プロフィール | 関連する地図

【ルソン島 悲劇のゲリラ討伐作戦～秋田県・歩兵第17連隊～】

昭和19年、日本軍はフィリピン・レイテ島で大敗し制空権・制海権を失った。援軍も補給も断たれるなか第14方面軍・山下奉文司令官は、ルソン島での持久戦を決断。南部の守備隊10万人のほとんどを、マニラ東方の山岳地帯に配置した。

ルソン島南部の守備に残された秋田県・歩兵第17連隊は、将兵およそ3000人。その多くは戦闘経験のない2

1. はじめに

フィリピン: 戦争被害の特徴

- ✓ 東南アジアでもっとも日本に敵対的な占領地
日中戦争・ドイツ占領下ヨーロッパとの「共通性」
- ✓ 1946年の独立を予定(1935年以来)・「親米感情」
- ✓ 日本軍は「米比軍」(USAFFE)と交戦
- ✓ 侵攻を侵略と受け止める見方が大半
- ✓ 全土で抗日ゲリラが米軍指揮下に組織化される



戦況の悪化・経済の崩壊(日本軍の現地自活原則による民生への圧迫にともなう関係の悪化)／「ゲリラ掃討」＝「住民は全て敵匪だと思え」／捷号作戦発動(1944.7.)によりフィリピンは日米戦の「天王山」に／中国・満州から歴戦の大軍がフィリピンに転戦(日中戦争の経験がひきつがれる)

1. はじめに

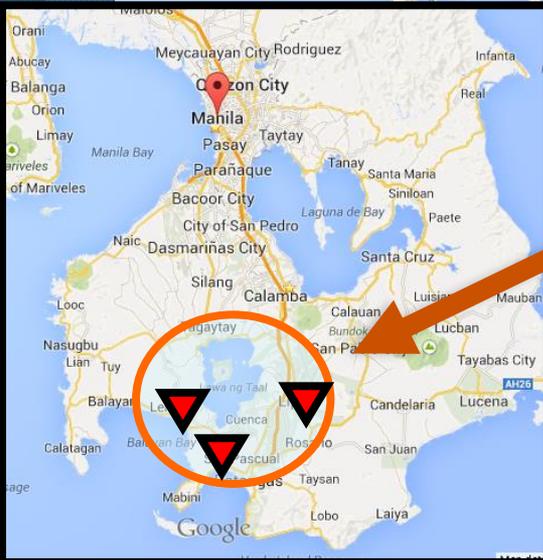


たとえば・・・振武集団

- ✓ マニラ東方からバタンガス州の守備を命じられた3集団のうちの一つ
- ✓ 第8師団、第105師団：ほとんどが満州から配置換え。出身は東北地方(青森、秋田、仙台)が中心

● 藤兵団/バタンガス

- ✓ 17歩兵連隊(秋田連隊)3000名
- ✓ 1944年9月 満州からフィリピンに転戦
- ✓ 1945年1月～3月: バタンガス州で大量の非戦闘員を殺害したとされる / バウアン (400*) タール (2000*) リパ (1,200*) など
- ✓ バナハウ山で投降: 生存者700名
- ✓ 戦犯容疑で逮捕20名 兵団長 藤重正徳を含む5名が死刑執行



1. はじめに

藤兵団の残虐行為

「あの部落は、もうゲリラの部落だから、男でも女子でも子どもでも皆殺してしまえ」というわけよ、そういう指示を受けた事があって、いまは公言されね事だべどもよ、居た人全部、わらし(子ども)の果てまで一人残ったって困るべ？皆殺し。

日本人もよ、様々なのいるんだな、こったこと、あまり人さ言われねどもよ、みんな日本の兵隊って男兵だべ？でまだ25、6だべった。珍しいんだろな、まず女を。して女子(縄で)締めてよ、本当は言われね事なんだけどよ、恥さらしたども、「尻を出すべ」と言うわけよ、その女子に、「尻出すべ」って言って、それが絶対よ、他人のかか(奥さん)なばあれだどもまだ生娘だべった、へばやっぱ「はいはい」なんてな言えねえし、「出へば(出せば)助けるし、んでねば(でなければ)殺す」って言ったったってよ、絶対抵抗してよ、して日本の兵隊も日本の兵隊だ、バチツと、殺しちゃってよ、して殺してがらサルマタ開いて見でよ、「け、こったものが(ちえ、こんなもの)」て革靴でどんとフンマゲダリ(踏みつけたり)してよ、残酷なもんだなと思ってよ。



1. はじめに



マニラ市街戦 (1945.2.3-3.3)

「(第2次世界大戦で)ワルシャワに次ぐ破壊」 D. Eisenhower

日本領土外での日米最後の激戦地・最大の市街戦

「硫黄島の戦い」(1945.2.15-3.15)

沖縄戦 (1945.3.26-6.23)

本土空襲 (東京大空襲 1945.3.10 / 山手空襲 5.25 etc.)

ヒロシマ (1945.8.6)・ナガサキ (8.9)

非戦闘員(マニラ市民)犠牲者 10万人にのぼるとされる

4割・・・米軍無差別砲撃による犠牲

6割・・・日本軍による殺害 とされる

米軍・・・戦死 1010 負傷 5,565

日本軍・・・16,000 余りの遺体を収容

フィリピンの第2次世界大戦犠牲者 111万人 政府推計

被害額・・・80億ドル(1953価格)

日本人戦没者・・・51万7000人余

戦後、1950年代までは日本軍残虐行為・戦争犯罪の象徴

下裁判 (1945)・東京裁判 (1946-48)

→山

1. はじめに

3年半にわたる軍事占領・激しい戦闘で110万人を超える戦争犠牲者を出したとされるフィリピン＝戦後もっとも対日感情の悪い国として知られていた。

駐フィリピン大使を務めた湯川盛夫（在任1957-61年）は、赴任当時の印象について「あらかじめ覚悟してはいたものの、対日感情の悪いことには驚いた。新聞などにも、日本の悪口の出ない日は、めずらしいくらいだった」と述べている：土谷直敏編『山ゆかば草むす屍』私費出版、1965年、91頁。

ところが今日・・・

2. フィリピンと日本 和解のパターン

- ✓ 1945 対日戦勝利 / 戦犯裁判
- ✓ 1951 サンフランシスコ平和条約
- ✓ 1953 キリノ大統領特赦
- ✓ 1956 日比賠償条約
- ✓ 1962 皇太子夫妻訪問
- ✓ 1972 戒厳令
- ✓ 1973 友好通商航海条約批准 1974 小野田さん「救出」事件
- ✓ 2016 天皇皇后訪問

●過去の悲劇を乗り越え、今や最も親日的・協力的な国
大戦で、51.8万人の日本兵、多数のフィリピン人が犠牲

フィリピン共和国の概要

2016年1月
外務省
南東アジア第二課

●政治・安全保障上の重要性
シーレーンを共有する海洋国家、地政学的に重要

●我が国と基本的価値観・戦略的利益を共有
2011年9月「戦略的パートナーシップ」に

●過去の悲劇を乗り越え、今や最も親日的・協力的な国
大戦で、51.8万人の日本兵、多数のフィリピン人が犠牲

●我が国と深い人的つながり
在日比人は約20万人、在比邦人は約1万8千人

●経済面で成長のポテンシャル
安価で優秀な労働力、ポストBRICsの有力候補

●ASEANの主要国
ASEAN原加盟国、ASEANの約2割の人口

2. フィリピンと日本 和解のパターン

- ✓ 1945 対日戦勝利
/ 戦犯裁判
- ✓ 1951 サンフランシスコ平和条約
- ✓ 1953 キリノ大統領特赦
- ✓ 1956 日比賠償条約
- ✓ 1962 皇太子夫妻訪問
- ✓ 1972 戒厳令
- ✓ 1973 友好通商航海条約批准1974
小野田さん「救出」事件2016 天皇
皇后訪問

比中韓の比較

- ✓ **フィリピン**：戦場で（米とともに）日本を圧倒、戦犯裁判による応報、戦犯恩赦（赦し）、賠償（償い）と国交回復＝報復から和解に向けて関係が前進・フィリピン側が「主体性」を発揮する機会→徐々に（確実に）反日感情が緩和した。
- ✓ **中国**：国民政府戦犯裁判・内戦による処罰の中断／冷戦期、中国・台湾ともに政府主導の「和解 thin reconciliation」進む／中国＝指導者責任論（「人民」との分離）
- ✓ **韓国**：脱植民地化と朝鮮戦争・「植民地責任」問題（旧宗主国・植民地における「和解」はどこでも難しい）

2. フィリピンと日本 和解のパターン

- ✓ 1945 対日戦勝利 / 戦犯裁判
- ✓ 1951 サンフランシスコ平和条約
- ✓ 1953 小野田大統領特赦
- ✓ 1956 日比賠償条約
- ✓ 1962 皇太子夫妻訪日
- ✓ 1972 戒厳令「和解」と日比通商航海条約批准
- ✓ 1973 小野田大統領特赦事件
- ✓ 1974 天皇皇后訪問
- ✓ 2016 天皇皇后訪問

この説明で十分?

日比「浅い和解」
中の「浅い和解」
の違いは?

政府主導の「和解」がどれくらい
両国民に共有されてきたか

比中韓の比較

- ✓ **フィリピン**：戦場で（米とともに）日本を圧倒、戦犯裁判による応報、戦犯恩赦（赦し）、賠償（償い）と国交回復＝報復から和解に向けて関係が前進・フィリピン側が「主体性」を発揮する機会→徐々に（確実に）反日感情が緩和した。
- ✓ **中国**：国民政府戦犯裁判・内戦による処罰の中断／冷戦期、中国・台湾ともに政府主導の「浅い和解 thin reconciliation」進む／中国＝指導者責任論（「人民」との分離）
- ✓ **韓国**：脱植民地化と朝鮮戦争・「植民地責任」問題（旧宗主国・植民地における「和解」はどこでも難しい）

2. フィリピンと日本 和解のパターン

日本とフィリピン：
お詫びと赦しの好循環
環形成の契機



日比和解のユニークな側面としての「戦没者慰霊」を通じた「和解」

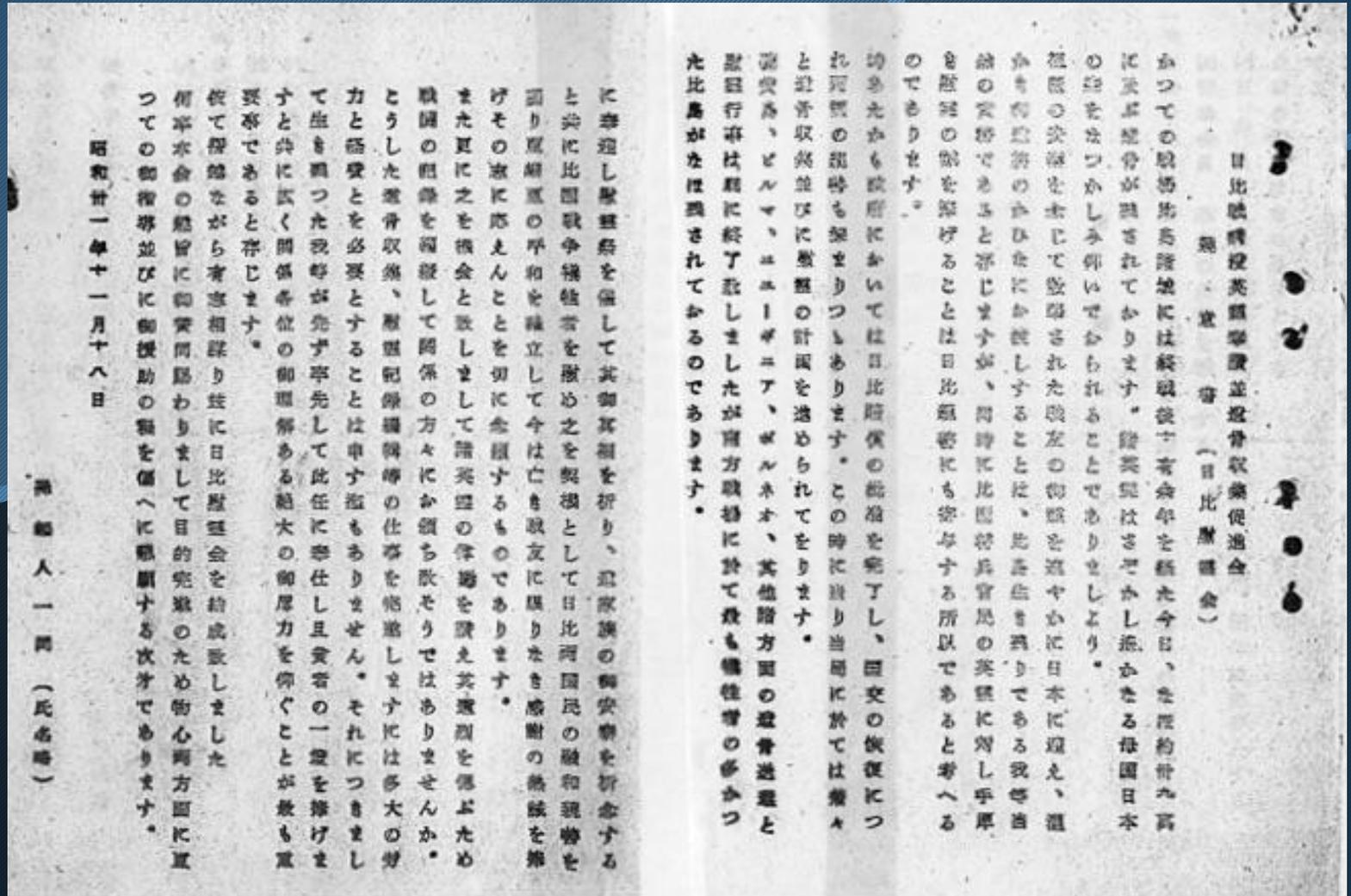
- ✓ フィリピン人戦争犠牲者「111万人」
日本人「比島戦没者」約52万人
- ✓ 日本人「戦争世代」～遺族(夫人、両親、子供)・生還者による「戦没者慰霊」を目的としたフィリピン訪問が始まる(1960年代なかば)。**遺骨収集・慰霊巡拝・慰霊碑建立**～戦後日比の草の根交流のコアとなる。
- ✓ 一般に日本人訪問者(戦争世代)は、フィリピンに対する戦争加害責任やフィリピンの戦争犠牲の大きさを認識。日本人戦没者慰霊の営みに対するフィリピン側の寛容と赦しに対する感謝の念を抱く傾向。

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環



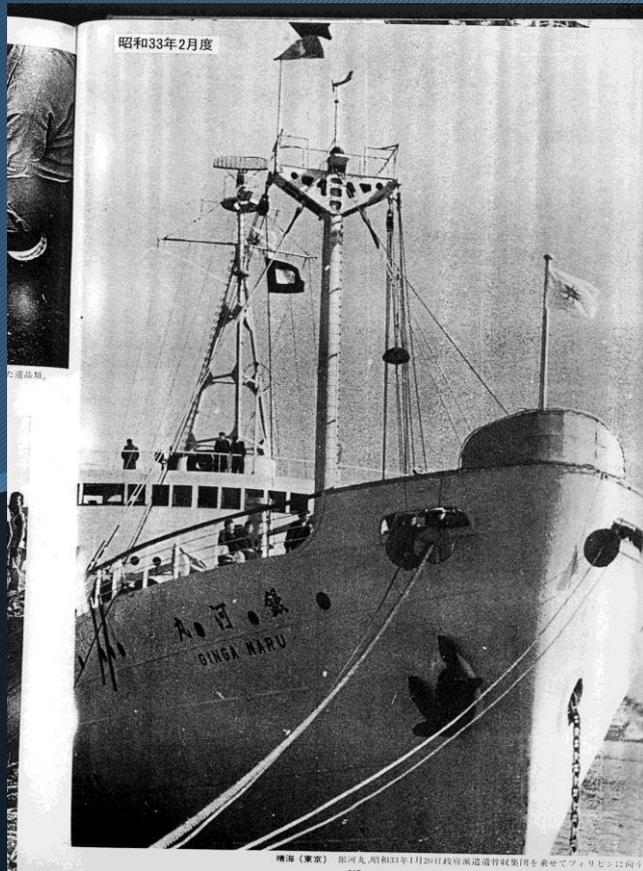
クラークフィールド（ルソン島） 昭和33年2月2日、旧水源池高地での現地追悼式

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

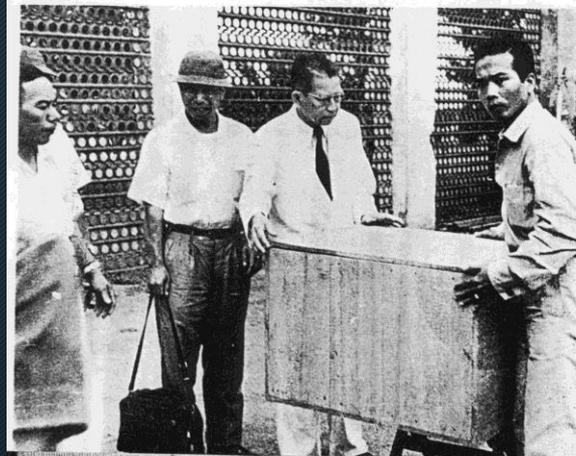


日比慰霊会設立趣意書 (1956年11月18日)

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環



ツゲガラオ(ルソン島) 昭和33年2月16日、ツゲガラオ附近にて収骨分を地に付す。



モンテルバ(ルソン島)
ブニエ局長より、同氏により収骨された御遺骨150体を受領する。ブニエ局長の御厚情誠に有難し。

第1回遺骨収集政府派遣団(1958)

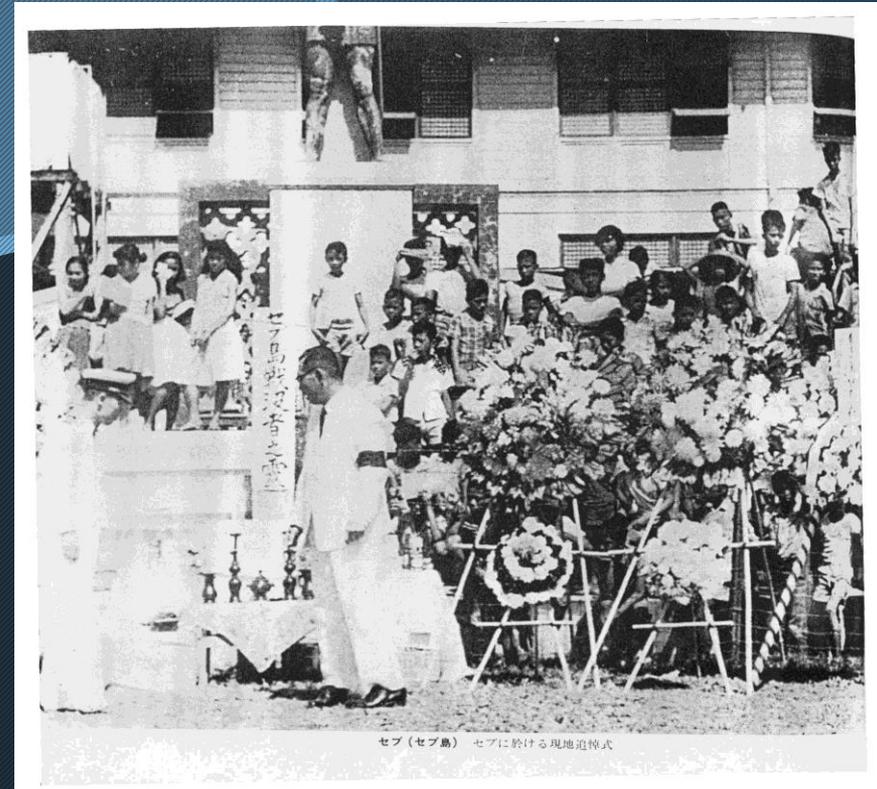
3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環



ザンボンガ(ミンダナオ島) ザンボンガの現地追悼式



(ボロ島) ボロ島に於ける収骨作業



セブ(セブ島) セブに於ける現地追悼式

第1回遺骨収集政府派遣団(1958)

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環



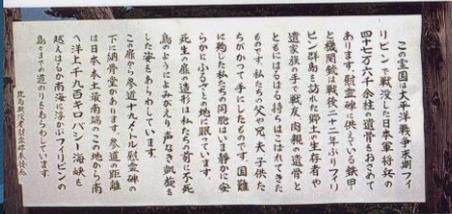
比島戦没者慰霊碑
鹿児島県指宿市
比島戦没者慰霊碑奉賛会



十字泉山 米第24師団と日第18師団が33連隊との激戦地。バロ市からこの山にかけてが激戦地の中心であり、33連隊もここで玉砕した

フィリ
大東亜戦争

レイテ島バロ市街。このあめりの海岸をトビーチと呼び上陸米軍と死闘を展開した



郷の先達をなす方々で約万人余の同胞が集った



戦没者慰霊碑由来



海紅花（鹿児島県指宿市）



レイテ島戦没者之霊碑 ブラウエン 日米両軍が飛行場の争奪で衝突した



英霊碑 レイテ島ダガミ



第26師団戦没者慰霊之碑 レイテ島マハンラフ



第1師団戦没者英霊供養塔 レイテ島マハンラフ

(左)鹿児島県・花瀬望比公園「死生の扉」
(1968年除幕)(上)フィリピン各地の慰霊碑

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環



カラヤ「比島戦没者の碑」(1973年除幕)
2016年1月・天皇皇后訪問

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

巡拝者たちのフィリピン認識

「大勢のフィリピン人達の中には……複雑な気持の人が今も多い筈です。私達はその一人一人の胸の奥に触れる時間もきつかけも無く、唯、偶々時よく所よく、自然に醸し出された周囲の雰囲気によかつたが為に、短い滞在の間よい面にだけ触れ、よい気分だけに浸つて帰国出来たことが、不思議な程仕合せだつたと思つてゐます」：衣川貞「子の遺した言葉のままにーボントツクを訪ねるー（1961年）」、土谷、73-80頁。

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

(例)中村卯一(生還者)の残した短歌

胸深く戦禍は消えず慰霊碑は比島の民の宥し
のなかに

ふたたびのいのち享けにしフィリピンの訪いし
戦野にふるさとの想い

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

中曽根康弘首相 1983年5月 フィリピン訪問・晩さん会答辞

わが国は過去の戦争で貴国と貴国の国民に多大な迷惑をかけたことは極めて遺憾と
思い、深く反省している……みなさまの友情と寛大さが温かければ温かいほど日本人はさらに深い反省と戒めを心がけなければならない。

中曽根康弘は海軍主計中尉として開戦時にミンダナオ島ダバオへの強襲上陸作戦に参加したフィリピン戦経験者。

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

中曽根康弘首相 1983年5月 フィリピン訪問・晩さん会答辞

わが国は過去の戦争で貴国と貴国の国民に多大な迷惑をかけたことは極めて遺憾と
思い、深く反省している……みなさまの友情と寛大さが温かければ温かいほど日本人はさらに深い反省と戒めを心がけなければならない。

中曽根康弘は海軍主計中尉として開戦時にミンダナオ島ダバオへの強襲上陸作戦に参加したフィリピン戦経験者。

3. 日本とフィリピン 「お詫びと赦し」の好循環

昭和天皇の「お詫び」事件 1986年11月 テオドロ・ベニグノ大統領報道官

昭和天皇は「日本人が第2次世界大戦中にフィリピンに対してかけた迷惑について、おわびを言いつづけた」「(コラソン・アキノ大統領が) そのことは忘れて下さいと言ったが、天皇はそれにもかかわらず、日本人がフィリピンに強いた苦痛を日本が償うことを望んでいると述べた」。

宮内庁は直ちに否定、外務省は天皇との会見内容は公表しないのが慣例であるとしてコメントせず、後藤田正晴官房長官が「事実ではないだろう。どういった経緯でああいうのが出たのかは分からない」と述べて、一件落ち着いた。

4. 日本人の忘却

戦争世代間の「和解」の限界

- ✓ 制度化されなかった和解
- ✓ 後続世代に継承されず
- ✓ 日本側では1990年代までフィリピン戦の国民的記憶がほぼ喪失

5. フィリピン 忘却への抗議：メモラーレ・マニラ1945



Excerpt from the list of sponsors

Gerusalem, Dr. Violeta
Katigbak, Mrs. Rosario D.
Krohn, Jr., Mr. Edgar
Lagdameo, Doña Pilar
Laogan, Atty. Daniel Y.
Legarda, Jr., Dr. Benito
Lim, Mayor Alfredo
Locsin, Jr., Teodoro L.
Luchangco, Mr. Guillermo
MacCohon, Mrs. Georgina P.
Madrigal, Don Antonio
Maldonado, Mrs. Marilen
Lizarraga vda. de
Manahan, Mrs. Tats Rejante

Perez-Radio, Ambassador
Miguel
Picornell, Mr. Pedro
Ponce-Enrile, Mrs. Cristina
Porta, Mr. Joaquin
Quasha, Mr. William
Quiason, Dr. Serafin
Quimson, Mrs. Angeles
Quirino Delgado, Mrs. Victoria
Rama, Mr. Napoleon
Ramirez, Msgr. Josefino S.
Ressa, Ms. Maria A.
Reyes, Mr. Eugenio
Reyes, Mrs. Magdalena T.

5. フィリピン 忘却への抗議：メモラーレ・マニラ1945



MEMORARE MANILA 1945

REQUIEM MASS

TO HONOUR THE NON-COMBATANTS
WHO PERISHED IN THE BATTLE FOR MANILA

MANILA CATHEDRAL
INTRAMUROS, MANILA

FEBRUARY 18TH 1995 • 7:00 P.M.

HIS EMINENCE, JAIME CARDINAL SIN
MAIN CELEBRANT

**Mrs. Victoria
Quirino-Delgado:**

For the innocent children
who were slaughtered like
sacrificial lambs
for our sins, let us pray
to the Lord.

People: Lord, hear our prayer.

**Mr. Fernando
Vasquez-Prada:**

For those who killed and
raped and slaughtered that
they may acknowledge
their guilt and seek forgiveness,
let us pray to the Lord,

People: Lord, hear our prayer.

5. フィリピン 忘却への抗議：メモラーレ・マニラ1945



参加している日本人男女はBridge for Peace メンバー（女性は神直子さん）

1. ミグエル・ペレス・ルビオ氏（元・大統領府儀典長）：1945年2月12日、家族の全員をルビオ邸にて日本軍に虐殺された（本人はゲリラとして市外で戦闘、難を逃れた）。
2. 故フアン・ロチャ（元・スペイン大使）：母親が米軍砲撃で破片を受けて死亡、親族11名が日本軍に殺害された。
3. ローデス・モンティノーラ（極東大学総長）：2月9日、本人をのぞく家族全員が自宅に乱入した日本兵に殺害された。
4. イサベル・カーロ・ウィルソン（元・スペイン大使）：ベイビュー・ホテル事件（多くの女性が監禁・レイプされた）で難を逃れた目撃者。
5. ジェンマ・クルス・アラネタ（1964年ミス・インターナショナル）：母カルメン・ゲレロ・ナクピルとマニラ戦を生きのびるが、日本軍憲兵隊に拉致された父・祖父らクルス家男性全員が殺害された。

忘却に対する抗議

- ✓ 1995 市民団体メモラーレ・マニラ1945発足
2月 慰霊碑の建立と慰霊ミサ
- ✓ カーディナル・シン枢機卿が執行 大統領出席
「殺し、レイプし、虐殺した者たちが
罪を認め 赦しを乞いますように
私たちは神に祈ります」（ミサの祈りの一節）
- ✓ 同団体はマニラ戦の記憶風化・政府や国際社会の無関心に抗議し、南京事件や
広島・長崎とならぶ戦争の悲劇としてマニラ戦が認知されることをめざし、マ
ニラ戦関連文献の出版活動を推進 1990年代から2000年代にかけて多くの文
献が出版された
- ✓ →日本ではこの動きはまったく報道されなかった

記憶回復への動き

- ✓ 2005年2月 日比友好月間への批判強まる
- ✓ 2006年2月 山崎隆一郎大使が慰霊式に出席・謝罪
- ✓ 2007年8月 NHK 「証言記録 マニラ市街戦 ~死者12万 焦土への一ヶ月」放送
- ✓ 2011年2月 市民団体ブリッジ・フォー・ピースがマニラ戦追悼式に招待される
/7月 マニラ戦シンポ（一橋大学）にメモラーレ・マニラ関係者を招聘
- ✓ 2015年2月 マニラ戦追悼式が日本の各メディアで報道される
- ✓ 2016年1月 天皇皇后フィリピン訪問「おことば」でマニラ市街戦に言及
- ✓ 2016年6月 キリノ大統領（1953年に日本人戦犯を特赦）顕彰碑が日比谷公園に建てられる

6. 天皇皇后フィリピン訪問 (2016年1月26-30日) ほか最近の動き

出発時の「おことば」

フィリピンでは、先の戦争において、フィリピン人、米国人、日本人の多くの命が失われました。中でもマニラの市街戦においては、膨大な数に及ぶ無辜のフィリピン市民が犠牲になりました。私どもはこのことを常に心に置き、この度の訪問を果たしていきたいと思っています。

6. 天皇皇后フィリピン訪問 (2016年1月26-30日) ほか最近の動き

両陛下のボディ・ランゲージ

フィリピン到着時：手を振らずお辞儀



Japan's Emperor Akihito (L) and his wife Empress Michiko shortly after arriving at the international Manila on January 26, 2016 ©Ted Aljibe (AFP)



Japan's Emperor Akihito and Empress Michiko bow as they pay tribute to the graves of fallen heroes during a wreathlaying ceremony at the Libingan ng mga Bayani (National Heroes Cemetery) in Taguig, Metro Manila, January 27, 2016. — Reuters pic

フィリピン無名戦士の墓
2分間にわたり頭を垂れる



「比島戦没者の碑」に供花される天皇、皇后両陛下

カリラヤ慰霊碑：深く、短く礼

6. 天皇皇后フィリピン訪問 (2016年1月26-30日) ほか最近の動き

キリノ大統領顕彰碑
@日比谷公園



キリノ大統領声明

1953年7月6日、アメリカ合衆国ボルティモア

私は、フィリピンで服役している日本人捕虜に対し、フィリピン議会の同意を必要とする大赦ではなく、行政上の特赦を与えた。

私は、妻と3人の子供、5人の親族を日本人に殺された者として、彼らを赦すことになるとは思っても寄らなかった。私は、自分の子供や国民に、我々の友となり、我が国に末永く恩恵をもたらすであろう日本人に対する憎悪の念を残さないために、これを行うのである。やはり、我々は隣国となる運命なのだ。

私は、キリスト教国の長として、自らこのような決断をなし得たことを幸せに思う。私を突き動かした善意の心が人類に対する信頼の証として、他者の心の琴線に触れることになれば本望である。人間同士の愛は、人間や国家の間において常に至高の定めであり、世界平和の礎となるものである。

6. 天皇皇后フィリピン訪問 (2016年1月26-30日) ほか最近の動き

SECTIONS Sunday, June 10, 2018 INQUIRER.NET TODAY'S PAPER

HEADLINES 514 SHARES

MASSACRE RECALLED

World War II long over, but Japanese group still on healing mission

By: Dexter Cabalza - Reporter / @dexcabalzaINQ Philippine Daily Inquirer / 05:01 AM February 26, 2018



Naoko Jin

Naoko Jin's memory of her first interaction with a Filipino almost two decades ago was not a pleasant one.

Jin and several fellow Japanese students were in the country for a study tour in 2000, when she encountered a woman seething with anger, almost to the point of tears.

"Why did you come here? I don't want to see any Japanese. Why did you return?" the woman snarled.

LATEST STORIES MOST READ

SPORTS
GALLERY: PH begins campaign in Fiba 3x World Cup
JUNE 10, 2018 10:26 AM

GLOBALNATION
Lorenzana tells AFP, to anticipate the futu air conflict
JUNE 10, 2018 10:24 AM

NEWSINFO
Batanes flights cancell
JUNE 10, 2018 10:24 AM

SPORTS
4th time's the charm: Halep tops Stephens to win French Open
JUNE 10, 2018 10:22 AM

LIFESTYLE
Prosecutor: No evidence of any foul play in Bourdain death
JUNE 10, 2018 10:20 AM

FROM AROUND THE WEB

ワンデーアキュビュー
モイスト

ACUVUE
MOIST

LENSMODE

戦争体験者のメッセージ記録とワークショップ



お問い合わせ ▶ よくある質問
文字の大きさ
English | 中文 | 한국어



ブリッジ・フォー・ピースとは BFPのワークショップ 戦争体験者のメッセージ記録 活動サポートのお願い

BFPの近日開催予定の
ワークショップ

- ▶ 2018/06/16
女子学徒隊・武村豊 (たけむら とよ) さんの 証言映像を見よう
- ▶ 2018/6/9
シンポジウム「先の戦争から学ぶ、歩むべき平和への道」
- ▶ 2018/7/15
フィリピンと日本：戦争の記憶をめぐって一緒に考えよう～

今後の開催予定一覧

スタッフブログ

▶ 読み込み中...

教育関係者、企業、NPO 関係者の方へ
ワークショップ導入のご案内

過去の戦争を知り、
未来のかたちを考えるきっかけをつくる

ブリッジ・フォー・ピース (以下BFP) は、戦争体験者のメッセージを記録をもちい、ワークショップを行うNPO法人です。異なる意見が出会い、参加する一人ひとりによって相乗効果がもたらされるワークショップを通して“過去の戦争を知り、未来のかたちを考えるきっかけをつくること”が、BFPのミッションです。



BFPのワークショップ

BFPで開催したワークショップの様子です。堅苦しくない雰囲気の中、気持ちをゆったり落ち着けてご参加いただけるよう配慮しています。積極的に発言しなればいけない、という事は全くありません。自分らしさを大切に、それぞれのペースでご参加ください。

- ▶ BFPのワークショップについて
- ▶ ワークショップ開催予定を見る
- ▶ ワークショップ参加者の声を紹介しています

ブリッジ・フォー・ピース
神直子さんのマニラ戦追悼式典
出席をつたえるフィリピン・インク
ワイアラー紙 (2018年2月)

6. 天皇皇后フィリピン訪問 (2016年1月26-30日) ほか最近の動き

「慰安婦像」建立・撤去騒動 (2017.12.8-2018.4.27)

SECTIONS Sunday, June 10, 2018 INQUIRER.NET TODAY'S PAPER

NEWS OPINION SPORTS LIFESTYLE PREEN ENTERTAINMENT BUSINESS TECHNOLOGY GLOBAL NATION

54 SHARES INQUIRY FROM DFA

Manila 'comfort woman' statue raises thorny issue with Japan

By: Aie Balagtas See - Reporter / @ABalagtasSeeINQ Philippine Daily Inquirer / 05:00 AM December 20, 2017



The 7-foot bronze statue unveiled on Dec. 8 on Roxas Boulevard sent Japanese embassy officials inquiring at Manila City Hall and the Department of Foreign Affairs seeking an explanation from local officials. —MARIANNE BERMUDEZ

A Manila city government official on Tuesday explained that it was the National Historical Commission of the Philippines (NHCP) who allowed a foundation to erect on Roxas Boulevard a bronze statue in memory of Filipino women forced into sexual servitude by invading Japanese troops during World War II.

Jojo Alcovendaz, the city administrator, pointed this out as a diplomatic row looms following reports that the Japanese Embassy had expressed regret over the rise of a "comfort woman" statue in Manila with the national government's blessing.

Decades after the war, official documentation and recognition of the comfort women remain a sensitive diplomatic issue between Japan and the Asian neighbors it invaded.

ADVERTISEMENT

LATEST STORIES MOST READ

SPORTS
GALLERY: PH begins campaign in Fiba 3x3 World Cup
JUNE 10, 2018 10:26 AM

GLOBALNATION
Lorenzana tells AFP, allies to anticipate the future of air conflict
JUNE 10, 2018 10:24 AM

NEWSINFO
Batanes flights canceled
JUNE 10, 2018 10:24 AM

SPORTS
4th time's the charm: Halep tops Stephens to win French Open
JUNE 10, 2018 10:22 AM

LIFESTYLE
Prosecutor: No evidence of any foul play in Bourdain death
JUNE 10, 2018 10:20 AM

FROM AROUND THE WEB

ワンデーアキュビュー オアシス
LENSTMODE

Men over 30: This War Game Is Your New Obsession
World of Tanks — Free Online Game

INQUIRER.NET
Trump ever more likely to burn down his own White...

thejapantimes NEWS

20°C A SHOWER TOKYO (11 a.m.) MARKETS 109.42 ¥/\$ (5 p.m.)

NEWS OPINION LIFE COMMUNITY CULTURE

NATIONAL ASIA PACIFIC BUSINESS WORLD REFERENCE COLUMNS



A backhoe scoops earth from the spot on Saturday where a statue of a 'comfort woman' stood along a scenic bay-side promenade in Manila. The statue, which symbolized Filipino women forced into Imperial Japan's wartime military brothels, was removed later that night. | AP

NATIONAL

Advocacy groups blast removal of 'comfort women' statue in Manila

AFP-JJI

MANILA - Advocacy groups voiced outrage Sunday after a memorial to the females who were forced into brothels for Imperial Japanese soldiers before and during World War II was taken down in Manila.

City authorities said the bronze sculpture of a blindfolded woman, which had been installed on a bay-side promenade in the Philippine capital, was removed Friday to make way for a drainage and footbridge project.

APR 30, 2018
ARTICLE HISTORY
PRINT SHARE
PHOTOS
CLICK TO ENLARGE

7. おわりに

- ✓ 天皇皇后フィリピン訪問・・・日比の「お詫び」と「赦し」の好循環のパターンを再現 but 何回も繰り返される和解と忘却
- ✓ 東アジア国際政治のなかに批判的に位置づける必要があることは当然（南シナ海問題、フィリピン政府のポジショナリティ）。その一方、歴史和解のパターンとその課題の一例として注目し、活用する意味は大きい。
- ✓ 「より質の高い和解」・・・忘却による和解の限界をふまえ、記憶の共有・コンセンサスのある程度の制度化を伴うことが望まれる。日比で可能性を示せば、日中関係にも応用は可能ではないか。Bridge for Peace等の活動に期待したい。